

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード		5-3-1		事業名	札幌駅前通地下歩行空間整備事業
担当	建設局土木部創成・駅前整備担当課 小林 Tel 211-2641				
全 体 計 画					
事業内容	札幌駅前通において、「地下鉄さっぽろ駅」と「地下鉄大通駅」を連絡する地下歩行空間を整備する。 ・事業年度：平成17年度～平成22年度 ・整備延長：520m(北1条・宮の沢通～北5条・手稲通) ・通路幅員：20m(標準部) 大通～北1条・宮の沢通間の160mについては、北海道開発局で整備中		<年度別の事業内容>		
			平成19年度：仮設工,掘削工,北4条機械室整備工 平成20年度：掘削工,構築工,北4条機械室建築・設備工 平成21年度：構築工,埋戻し工,建築・設備工 平成22年度：建築・設備工,路面復旧工		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	本体工事 1,228百万円 さっぽろ駅改修工事 543百万円 地下埋設物移設補償 121百万円		本体工事 1,929百万円 さっぽろ駅改修工事 855百万円 地下埋設物移設補償等 230百万円		
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)		
	本体工事 1,682百万円 さっぽろ駅改修工事 318百万円 地下埋設物移設補償 182百万円				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-1		事業名	札幌駅前通地下歩行空間整備事業		
達成目標の状況						
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)
地下歩行空間(地下歩道)の整備		工事中	工事中	工事中	工事中	供用開始
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■ 市民との連携、市民参加 1000人ワークショップの結果を踏まえ、事業を推進している。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力] 地下接続を接続者側の負担により行うことにより、民間資本による道路整備を行うことが出来る。駅前通の街路樹について民間企業から寄附をいただく。 [人材協力] [情報協力] 各種マスコミ取材などを通じて、事業の理解を深めるようにしている。 [その他の協力] ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業は、詳細デザインや管理運営について地元事業者や協議会に情報提供を行いながら、市民が参加しやすい環境づくりを進めている。 パネル模型展を開催し市民への情報提供を行った。						
評 価 (成 果)				課 題		
沿道ビル、地下埋設物管理者と綿密な連携をとりながら計画的に事業を進め、ほぼ予定通りの工程で進めることが出来た。 北4条機械室についても予定通り工事が進み、今年度完了予定である。				工期短縮やコスト縮減 本格化する沿道ビル接続工事との工程管理 地上部道路復旧工について関係機関との調整		
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
地下歩行空間の整備により、四季を通じて安全で快適な歩行空間を確保し、2極化している都心の商業圏の回遊性を高めることで都心全体の魅力と活力の向上を図り、道都にふさわしい街並みにぎわいを創出するために、早期完成を目指しており、平成22年度中の完成のために今後も沿道ビル接続工事との工程管理を綿密にしながら工期短縮、コスト縮減に取り組み、地上部道路復旧工についても関係機関と協議を進める。また22年度の完成後に様々な活用が行える施設整備を進めるため関連部局と連携しながら事業を行う。						

予算の計には、19年度から20年度への繰越分(448,000千円)及び20年度から21年度への繰越分(75,000千円)を含まない。